

# 2019年度 人権大学講座



**主催：公益財団法人 世界人権問題研究センター**

**後援：** 京都府・京都市・京都商工会議所・京都府教育委員会・京都市教育委員会・  
京都新聞・朝日新聞京都総局・毎日新聞京都支局・読売新聞京都総局・  
産経新聞京都総局・日本経済新聞社京都支社・NHK京都放送局・KBS京都



公益財団法人世界人権問題研究センター シンボルマーク  
全ての人間は、等しく人権を持つ・という気持ちを込めて、温かい心を示すラインと  
バックに地球を描き、デザインしました。

## 講座日程表／講座内容

	月日曜	種別	時間	講座名	講師	備考
1	6月14日 (金)	開講式	14:00～14:10	研究センター所長 坂元 茂樹		
		シンポジウム	14:10～17:00	誰一人取り残さない～SDGsがめざすもの～	阿部 浩己 門川 大作 坂元 茂樹 菅原 絵美 薬師寺公夫	—
2	7月9日 (火)	講義	14:00～15:40	グローバルなインターネット企業と個人の人権	曾我部真裕	PT1
3	7月22日 (月)	講義	14:00～15:40	差別を維持再生産する装置としての政治制度	岡野 八代 吉田 容子	PT4
4	8月1日 (木)	講義 (旧ゆかり)	14:00～15:40	朝鮮通信使と天皇	仲尾 宏	登録4
5	8月19日 (月)	講義	14:00～15:40	子どもの貧困と人権	村井 琢哉	PT3
6	9月10日 (火)	ワークショップ	14:00～16:00	多文化共生と人権について考える～「ひょうたん島問題」を通して～	藤原 孝章	登録5
7	9月20日 (金)	講義	14:00～15:40	『男女雇用機会均等法』発展史～性差別禁止立法のこれまでとこれから～	青木 克也	PT6
8	10月15日 (火)	講義 (旧ゆかり)	14:00～15:40	京都・鴨川河原の歴史～「四条河原」「五条河原」に生きた人びと～	下坂 守	—
9	10月29日 (火)	フィールドワーク	13:00～17:00	在日コリアンの歴史・現状、多文化共生、東九条の成り立ち	南 珣賢 村木美都子 山本 崇記	—
10	11月22日 (金)	講義	14:00～15:40	外国人労働の受け入れと人権	薬師寺公夫	PT5
11	12月13日 (金)	講義 (旧ゆかり)	14:00～15:40	海を渡った被差別民	関口 寛	PT2
12	1月24日 (金)	講義	14:00～15:40	死刑と人権～死刑をどう考えるか～	大谷 實	理事長
		修了式	15:40～15:50	研究センター理事長 大谷 實		

「旧ゆかり」は、「講座・人権ゆかりの地をたずねて」のことを示しています。  
 ※「講座・人権ゆかりの地をたずねて」: 京都の各地を人権の視点から紹介し、その歴史をたどりながら学ぶ講座  
 備考欄「PT」はプロジェクトチーム、「登録」は登録チームを示しています。

会場: 1 同志社大学寒梅館(上、烏丸今出川上る)  
 9 エルファ(南、東九条北松ノ木町12)  
 その他 ハートピア京都(中、烏丸丸太町下ル)

## <講師プロフィール>

### 青木 克也(あおき かつや)

研究センター研究員、京都大学大学院法学研究科博士後期課程

### 大谷 實(おおや みのる)

研究センター理事長、前学校法人同志社総長、元日本学術会議会員、元司法試験審査委員ほか  
主要業績:『精神保健福祉法講義』(成文堂、2014年)、  
『刑法講義各論』(成文堂、2013年)ほか

### 門川 大作(かどかわ だいさく)

京都市長

### 下坂 守(しもさか まもる)

研究センター研究員、京都国立博物館名誉館員  
主要業績:『中世「四條河原」再考』(奈良史学、2016年)、  
『中世寺院社会と民衆』(思文閣出版、014年)ほか

### 関口 寛(せきぐち ひろし)

研究センター研究員、四国大学経営情報学部准教授  
主要業績:『人種神話を解体する2』(東大出版会、2016年)、  
『歴史評論第766号』(歴史学者協議会、2014年)ほか

### 曾我部 真裕(そがべ まさひろ)

研究センター研究員、京都大学大学院法学研究科教授  
主要業績:『憲法学のゆくえ 諸法との対話で切り拓く新たな地平』(日本評論社、2016年)、  
『憲法 I、II』(日本評論社、2016年)ほか

### 南 珣賢(なん すんひょん)

NPO法人京都コリアン生活センターエルファ事務局長

### 村井 琢哉(むらい たくや)

研究センター研究員、NPO法人山科醍醐こどものひろば理事長  
主要業績:『まちの子どもソーシャルワーク』(共著)  
(かもがわ出版、2018年)、  
『子どもの貧困に向きあえる学校づくり』  
(共著)(かもがわ出版、2018年)ほか

### 村木 美都子(むらき みとこ)

特定非営利活動法人東九条まちづくりサポートセンターまめもやし事務局長

### 山本 崇記(やまもと たかのり)

研究センター研究員、静岡大学人文社会科学部准教授  
主要業績:『ヘイトスピーチによる被害実態調査と人間の尊厳の保障』(共著)(龍谷大学人権問題研究委員会、2016年)、  
『差異の繋争点—現代の差別を読み解く』(編著)  
(ハーベスト社、2012年)ほか

### 阿部 浩己(あべ こうき)

明治学院大学国際学部教授  
主要業績:『国際人権を生きる』(信山社、2014年)、  
『国際法の人権化』(信山社、2014年)ほか

### 岡野 八代(おかの やよ)

同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科教授  
主要業績:『フェミニズムの政治学 ケアの倫理をグローバル社会へ』(みすず書房、2012年)、  
『戦争に抗する—ケアの倫理と平和の構想』(岩波書店、2015年)ほか

### 坂元 茂樹(さかもと しげき)

研究センター所長、同志社大学法学部教授  
主要業績:『日本の海洋政策と海洋法』(信山社、2018年)、  
『人権条約の解釈と適用』(信山社、2017年)ほか

### 菅原 絵美(すがわら えみ)

大阪経済法科大学国際学部准教授  
主要業績:『企業の社会的責任と国際制度:『ビジネスと人権』を事例に』『論究ジュリスト』第19号、2016年)、  
『人権CSRガイドライン:企業経営に人権を組み込むとは』(解放出版社、2013年)ほか

### 仲尾 宏(なかお ひろし)

研究センター研究員、京都造形芸術大学客員教授、  
社団法人在日コリアン人権研究センター理事長ほか  
主要業績:『ユネスコ世界記憶遺産と朝鮮通信使』(共編著)  
(明石書店、2017年)、  
『朝鮮通信使—江戸日本の誠心外交』  
(岩波新書、2007年)ほか

### 藤原 孝章(ふじわら たかあき)

研究センター研究員、同志社女子大学現代社会学部教授  
主要業績:『教師と人権教育』(共監訳)(明石書店、2018年)、  
『SDGgと開発教育』(共著)(学文社、2016年)ほか

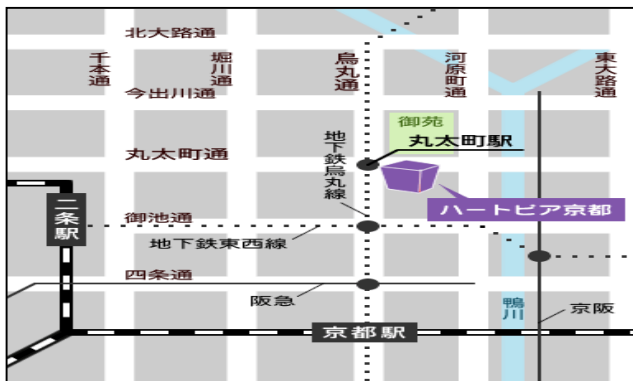
### 薬師寺 公夫(やくしじ きみお)

研究センタープロジェクトチーム5リーダー、立命館大学大学院法務研究科特任教授、国際法学会評議員会長ほか  
主要業績:『ベーシック条約集』(東信堂、2016年)、  
『国際司法裁判所による人権保護』『国際問題』  
No.680(2019年4月)ほか

### 吉田 容子(よしだ ようこ)

研究センタープロジェクトチーム4リーダー、弁護士  
主要業績:『面会交流紛争解決の課題』梶村太一・長谷川京子・渡辺義弘編著「Q&A 弁護士のための面会交流ハンドブック」218~255頁(学陽書房、2018年)、  
『データからみる性暴力被害の事態—判決で描かれる性暴力被害と実態との乖離』『性暴力被害の実態と刑事裁判』角田由紀子編集(信山社、2015年)ほか

## 会場案内



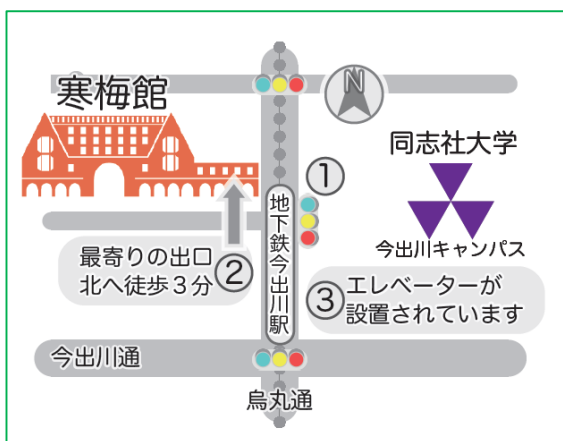
講義会場 受付 午後1時30分～

### 京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入  
清水町375番地

TEL 075-222-1777 / FAX 075-222-1778

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5番出口  
(地下鉄連絡通路にて連結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス  
「烏丸丸太町」バス停下車 烏丸通沿い南へ



シンポジウム会場 受付 午後1時30分～

### 同志社大学寒梅館

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル  
御所八幡町103

TEL 075-251-3120

- ・京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車
- ・京都市バス「烏丸今出川」バス停下車

## 申込方法

### 受講料

1回 1,000円 全講座一括の場合 10,000円

(初回のシンポジウムは受講料無料)

※全講座を一括で申込みいただくと受講料が割引となります。

※賛助会員は無料で受講できます。

### 受講手続き

○受講日前日までに、「受講申込書」(別紙)に必要事項を記入し、郵送又はFAXで申込みの上、指定の金融機関口座に受講料を振り込んでください。複数の受講希望日をまとめて申込みが出来ます。

○申込み及び受講料の振り込みが間に合わない場合は、当日、会場での受付も可能です。(ただし、定員を超過している場合は受講できません。)

・京都銀行	府庁前支店	普通 853685
・三菱UFJ銀行	京都支店	普通 1222396
・京都中央信用金庫	本店	普通 1039688

### 申込先

#### 公益財団法人 世界人権問題研究センター

〒604-8221 京都市中京区錦小路通室町西入天神山町290番地1

電話: 075-231-2600 / FAX: 075-231-2750

E-mail [jinken@khrrri.or.jp](mailto:jinken@khrrri.or.jp)

HP: <http://www.khrrri.or.jp>

# 講義の概要

## 第1回 シンポジウム 誰一人取り残さないーSDGsがめざすもの

国連は、2015年、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」を採択しました。この中で、国連は2016年から2030年までの間に達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットと指標を設定しました。このSDGsでは、開発目標としては異例の世界人権宣言の精神を引き継ぎ、「誰一人取り残さない(Leave No One Behind)」との人権の理念が掲げられました。このシンポジウムではSDGsとは何をめざすのか、そこに掲げられた理念とともに検討します。

## 第2回 グローバルなインターネット企業と個人の人権

私達はグローバルなインターネット企業が運営するサービスで検索をし、メッセージを書き込み、買い物をするなど様々な活動をしています。こうしたサービスは大変便利で、今日では必要不可欠なものとなっていますが、サービスの利用履歴がデータとして蓄積され利用されたり、メッセージが勝手に削除される、あるいはヘイトスピーチなどが削除されずにいることで被害を受けるなど、個人の人権を脅かす現象も見られます。多くが国外に本拠を置くこれらの企業の活動を、日本として、どのように規律していくことができるのかが問われています。今回はこうした問題について考えてみたいと思います。

## 第3回 差別を維持再生産する装置としての政治制度

本講義では、現在の選挙制度と、私たちの民主主義の捉え方や人権に対する考え方があいまって、最高機関である国会の場で多様な市民の声が反映されない仕組みができあがってしまっているのではないだろうか、と問いかけてみたい。選挙制度が民意の硬直化をもたらし、国会の異常な偏りを見えなくさせている。選挙制度から、民主主義を問い直すことを目的とします。

## 第4回 朝鮮通信使と天皇

朝鮮通信使は歴代の徳川将軍を事実上の「日本国王」として認識することで「対等抗礼」の相手として位置付けて200年間の日朝関係を位置づけた。しかし朝鮮では日本の天皇をどうみるか、どういう存在であるか、については観察と疑念を抱きつつ、さまざまに解釈して外交を続けた。日本国内でも天皇の存在についてはさまざまに解釈された。それは現代にも通ずる課題である。江戸時代の人々の日本と通信使のさまざまな受取りかたをふりかえって現代の日本人にとっての課題を考察する。

## 第5回 子どもの貧困と人権

子どもの貧困、児童虐待、いじめといった子どもの人権を侵害する状況が深刻化する社会の中で、あらためて子どもの人権を捉え直し、どのような政策、実践が必要かを現場での実践から提示し、みなさんと考えていきます。

## 第6回 ワークショップ 多文化共生と人権について考える～「ひょうたん島問題」を通して～

少子化・高齢化をひかえ日本では外国人労働者への依存が高まっています。講座では、移民や外国人労働者が増えつつある現代社会の課題とその解決のあり方を、「ひょうたん島問題」という仮想社会でのロールプレイ(ワークショップ)をとおして、多文化共生の観点から体験的に理解していきたいと思います。

## 第7回 『男女雇用機会均等法』発展史～性差別禁止立法のこれまでとこれから～

1985年、労使間の大いなる対立と妥協の下で制定された当初の男女雇用均等法は、性差別禁止立法としての実質を十分に備えるものではなかった。しかし、その後数次の改正を経て、同法による規制の範囲・強度は大きく進化を遂げ、今日では裁判・行政実務や企業の人事施策等に多大な影響を及ぼすに至っている。本講では、同法の生成・発展の過程をその背景とともに振り返りながら、今日における実務的な論点や法政策上の課題について解説を試みる。

## 第8回 京都・鴨川河原の歴史～「四条河原」「五条河原」に生きた人びと～

かつての京都の鴨川の両岸には広大な河原が広がりそこには河原者や非人の生活が存在した。しかし、その広い河原は、17世紀後半、江戸幕府の政策によって狭められ、鴨川の流は現在見るような一筋のものとなる。江戸幕府はなぜかの時に鴨川の河原を狭めたのか。また、それまで「四条河原」「五条河原」を生活・活動の場としていた河原者・非人の生活はこの河原の改変によってどう変わったのか。絵画史料等も利用し考えていきたい。

## 第9回 フィールドワーク 在日コリアンの歴史・現状、多文化共生、東九条の成り立ち

<フィールドワーク>

- ①在日コリアン高齢者(ハラボジ・ハルモニ)たちの『ありのまま』を目指して・南 珣賢(京都コリアン生活センターエルファ事務局長)
  - ②コリアンオモニ(お母さん)から聞く「40番地」の歴史と今・村木 美都子(東九条まちづくりサポートセンターまめもやし事務局長)
- 意見交換・まとめ・山本崇記(静岡大学人文社会科学部准教授)

## 第10回 外国人労働の受け入れと人権

2018年12月に出入国管理法等を改正する法律が成立し、新たに在留資格特定技能1号と特定技能2号が創設されました。近い将来確実に減少していく日本の人口の構成と高齢化社会を見越したうえで外国人労働の受け入れが、重要な政治、経済、社会問題となってきています。世界人権問題研究センター第5部会では、人の国際的な移動に伴い生じている人権問題に焦点をあてた共同研究をすすめてきましたが、その成果も含めて新しい在留資格の創設に伴って考えるべき外国人労働者とその家族の人権問題について、専門家を招いた対談形式で行いたいと考えています。

## 第11回 海を渡った被差別民

明治時代の末から大正時代にかけて、海を渡りハワイやアメリカに移住した被差別部落の人びとがいました。本講座では彼らの足跡をたどり、これまでほとんど知られてこなかったその苦難の歴史について考えます。またアメリカ日系人コミュニティにおける部落差別をとりあげ、近代の人種主義と部落問題の接点を探ります。

## 第12回 死刑と人権～死刑をどう考えるか～

ヨーロッパの国々を初めとして、世界では死刑を廃止する国が増えている。なぜ、これ等の国は死刑を取りやめることになったのか。日本では死刑廃止に反対する人が多いようだが、どうして国は死刑を廃止しようとならないのか。人の命を最大限に尊重する民主主義国家にとって、最大の人権侵害ともいべき死刑を存続する理由は何か。こうした問題について、最新の情報を提供しながら死刑をめぐる人権問題を考えることにしたい。

FAX 075(231)2750

2019年度 人権大学講座受講申込書

ふりがな お名前	
連絡先	〒
	TEL: ( ) FAX: ( )
所属	
受講区分	全講座 <input type="checkbox"/> ¥10,000 / 聴講 <input type="checkbox"/> @1,000円 × ( )回 (希望日)
受講料 支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日支払(一括・毎回)
聴講希望日 希望日をチェックしてください	<input type="checkbox"/> 6/14 <input type="checkbox"/> 7/9 <input type="checkbox"/> 7/22 <input type="checkbox"/> 8/1 <input type="checkbox"/> 8/19 <input type="checkbox"/> 9/10 <input type="checkbox"/> 9/20 <input type="checkbox"/> 10/15 <input type="checkbox"/> 10/29 <input type="checkbox"/> 11/22 <input type="checkbox"/> 12/13 <input type="checkbox"/> 1/24

(キリトリセン)

FAX 075(231)2750

2019年度 人権大学講座受講申込書

ふりがな お名前	
連絡先	〒
	TEL: ( ) FAX: ( )
所属	
受講区分	全講座 <input type="checkbox"/> ¥10,000 / 聴講 <input type="checkbox"/> @1,000円 × ( )回 (希望日)
受講料 支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日支払(一括・毎回)
聴講希望日 希望日をチェックしてください	<input type="checkbox"/> 6/14 <input type="checkbox"/> 7/9 <input type="checkbox"/> 7/22 <input type="checkbox"/> 8/1 <input type="checkbox"/> 8/19 <input type="checkbox"/> 9/10 <input type="checkbox"/> 9/20 <input type="checkbox"/> 10/15 <input type="checkbox"/> 10/29 <input type="checkbox"/> 11/22 <input type="checkbox"/> 12/13 <input type="checkbox"/> 1/24